

『年金者連盟』への加入(会員)のご案内

本連盟は、埼玉縣市町村職員共済組合の組合員が退職して、年金者連盟に加入した方たちを会員として組織されており、年金制度の維持・改善と年金受給者の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的として昭和42年4月に結成され、現在1万人程の方に会員として加入していただいております。全国の会員(約35万人)と一丸となって、退職者の年金制度の充実を図るため、国会や政府関係機関に対して陳情等の活動を続けてきております。

さて、ご承知のように、年金額の抑制を目的とした、年金額改定ルールの見直しが行われ、「賃金・物価スライドの見直し(平成33年4月1日施行)」や「マクロ経済スライドの見直し(平成30年4月1日施行)」が実施されることになりました。

このような制度改正の動きの中で、退職後の生活の基盤である年金制度が維持改善できるよう、これから年金を受けられる皆さま並びに年金待機者の皆さまに、ぜひ本連盟に加入していただき、お力をお借りできれば幸いに存じます。

なお、本連盟の事業内容については、下記のとおり実施しておりますので、ご参照いただきますようご案内申し上げます。

1 連盟の事業

具体的な事業内容につきましては、下表のとおりです。

2 連盟への加入方法

ハガキによる「加入申込書」に必要事項をご記入・押印のうえ、郵送にてお申し込みいただくこととなります。

また、いつでも(年金待機期間を含む)随時加入することができます。

本連盟では、県内の市町村(合併前の市町村単位)ごとに支部を設置していますので、市町村合併が行われても、合併前の市町村支部に加入することができます。



3 連盟の会費

(1) 会費の額

- ① 退職後から年金受給開始年齢の年度までは、定額1,500円
- ② 年金受給開始年齢の翌年度および受給開始後は、「年金額×千分の二」

(2) 会費の納入方法

- ① 上記①の方は、埼玉りそな銀行本支店から払い込んでいただけます。(手数料は無料扱いになります。)
- ② 上記②の方は毎年4月支給期の年金支給額から控除させていただきます。

(3) 障害年金受給者は、「年金額×千分の一」

4 お問い合わせ先

埼玉縣市町村職員年金者連盟
☎048-822-3308(直通)

事業種別	事業内容
陳情運動	(1)国会陳情およびハガキ陳情 連盟役員が国会に出向き、年金制度の維持・改善等について、県内選出の国会議員に対して陳情を行うとともに、会員の皆さまにご協力願ひ、ハガキ陳情を行います。
機関誌の発行	年2回「連盟だより」を発行し、全会員に配付しています。 ※掲載記事の内容は、年金関係の情報、連盟活動状況および宿泊契約施設の案内などです。
年金制度の説明	各支部からの要請により、支部総会等において年金制度の情勢について説明をいたします。
各種助成金	(1)本組合保養所「アルペンローゼ」を利用したとき 会員および配偶者が利用した場合、それぞれ1泊につき1人3,000円を助成します。(年間2泊を限度) (2)関東地区市町村職員共済組合の保養所を利用したとき 会員および配偶者が利用した場合、それぞれ1泊につき1人3,000円を助成します。(年間1泊を限度) (3)年金者連盟で契約している宿泊施設を利用したとき 会員および配偶者が利用した場合、それぞれ1泊につき1人3,000円を助成します。(年間1泊を限度)
弔慰金	会員が死亡された場合、香料として、1万円をお供えいたします。
長寿のお祝い	会員が長寿祝いの節目に達したときは、記念品を贈呈します。(80歳、88歳、100歳)
その他の事業	(1)支部への助成 各支部に対して、支部交付金として、会員1人当たり1,200円(年額)を支部活動費として交付します。 (2)支部研修への助成 各支部における支部総会、研修旅行等で本組合保養所「アルペンローゼ」または連盟で契約している施設を会員が利用した場合、1泊につき1人3,000円を助成します。(年間1泊を限度) (3)保養所の相互利用協定 全国の市町村職員共済組合の直営保養所を、組合員料金で利用できます。 (4)国内旅行の実施 会員および配偶者を対象として、国内旅行を実施しています。 (5)団体傷害保険および疾病保険の取扱い 会員になると、全国連盟で実施している団体傷害保険に、一般に比べ割引された保険料で加入することができます。 (6)がん保険 会員の場合、アメリカンファミリーのがん保険の保険料が団体割引扱いとなります。